



大好き かたびら

横浜市立帷子小学校
学校だよりNo.3 6月号
平成30年5月31日
横浜市保土ヶ谷区
川辺町65-1
TEL 045-335-5896

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/katabira>

副校長 中村 好宏

よこはま村から

常日頃より本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。
さて、5月に様々な活動が展開され、子どもたちは日一日と成長しています。

特に5月25日に実施した全校遠足は好天の下、たてわり活動として行われ、子どもたち同士の絆が深められた一日でした。（活動の紹介は別ページに掲載してあります。）

そして、この時期、横浜開港について話題にします。先日の全校朝会でも横浜開港について学びました。今年が開港して159年が経ちます。（安政6（1859）年6月2日開港）※旧暦です

開港以前、今の元町あたりが下の写真です。横に浜があったことから「よこはま」と言われる小さな集落のみがあったのだそうです。

『むかし おもえば とまやの けむり ちらりほらりと たてりし ところ』



余談ですが、条約提携後、横浜は港としての機能を高めていくなど、日本の近代化が急激に進んでいきますが、そのきっかけとなった「生麦事件」は大河ドラマでは、どのように描かれていくのか、興味が沸きます。

語り継ぎたいこと

もう一つ、5月29日のことも忘れてはいけません。昭和20（1945）年5月29日、73年前のこの日、横浜は大空襲を受けました。

本校の2階廊下に、開校以来の写真が飾られていますが、その中に、帷子地区に焼夷弾が落とされている飛行機内部からの写真があります。米軍は、この頃すでに、日本の国土の内部事情をくまなく調査しており、どこにどう落とせばよいか把握していたそうです。（横浜の目標地点の一つに工場が沢山あった「KATABIRA」の名前が出ていた資料を見たことがあります。）

多くの尊い命が失われたことを今までもこれからもずっと忘れてはならないことだと思います。

そして未来へ

今月16日に土曜参観があります。今を生きる子どもたちのがんばりをぜひご参観ください。

また、当日、横浜で唯一、学校に設置されているプラネタリウムの上映会をPTA学年学級委員会の皆様のご協力で行います。子どもたちの学習のみならず保護者向けの上映会も計画されています。どうぞご覧ください。

これからも帷子小で学ぶ子どもたちを温かく見守りいただけますようよろしくお願いいたします。

開港以来159年の歴史の中で、驚きや悲しみ、楽しみそして喜び、数々の出来事がありました。それらを経ながら綿々と人の営みが続くこの街、横浜・帷子。振り返りながら学びを深めていきたいです。

余談その2 昭和の時代、帷子の街には3本立てで上映することがメインの映画館がありました。その映画館の割引券が、私が通っていた小学校でよく配られていました。封切りからちょっと遅れての、ちょっとお安いお得な3本立ては非常に魅力的でした。

まちの歴史を学ぶ中で記憶や記録に残しておきたいものの一つにしたいと勝手に思う次第です。